

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス・児童発達支援 あさがお		
○保護者評価実施期間	7年 12月 8日		8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 5	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	8年 2月 1日		8年 2月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	・毎日の掃除や消毒により清潔さを維持している。 ・清潔に保つようしている。	引き続き毎日の清掃・消毒を入念に行い、より活動しやすい環境設定を整えてまいります。
2	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	契約時に保護者の方に分かりやすいように説明をしている。	利用者負担額、上限額管理等の説明もわかりやすく説明できるように努めてまいります。
3	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	毎日、終礼を行い、その日の支援の振り返りを行っている。次の支援に繋げられるように努めています。	引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	・利用定員10人に対してスペースが狭い。受け入れ人数を減らして対応している。	更にこどもの安全配慮に重点を置き対応してまいります。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	職員が足りておらず、欠如の日がある。	従業員の補充については求人媒体等を利用して人材確保に努めてまいります。
3	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	人材不足により地域交流等には参加、招待ができていない。	今後、必要に応じて対応してまいります。人員の補充に努めてまいります。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス・児童発達支援 あさがお

公表日 8年 2月 25日

利用児童数 8年 2月 25日

回収数 5

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	3		1		各部屋のスペースを生かした使い方を今後も模索し、さらにお子様にとってより良い環境作りを目指してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4			1		児童の安全が確保できますように、引き続き人材の確保に努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	1				こどもや保護者のニーズ、課題をもとに支援の方向性についてスタッフ間で会議を行い、支援計画に反映しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	1				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5					
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1		1		今後、検討していきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4			1		事業所ではペア・トレーニングは実施していませんが、行政機関等からの案内情報はお知らせいたします。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4			1		連絡帳、ライン、送迎時等を通じて情報共有をしています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	1				ご家族やお子さまの状況に寄り添った支援ができるように努めてまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2				今後も必要に応じて検討したいと考えています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4		1		1年目と言う事もあり自己評価結果は今回初めて発信させていただきます。又、ホームページ・SNS等は随時更新させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			2	火災に備え避難訓練、消火活動、救命訓練を行いました。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4		1		安全計画を策定し研修を行っています。お知らせする事は連絡帳、ライン等を活用してお知らせしています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5				
	29	事業所の支援に満足していますか。	5				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス・児童発達支援 あさがお				公表日	8年 2月 28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	3	・利用定員10人に対してスペースが狭い。受け入れ人数を減らして対応している。・利用人数を調整している。	限られたスペースで安全に支援ができるように対応して行きます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	職員が足りておらず、欠如の日がある。	求人媒体を利用して補充に努めてまいります	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		カード等の視覚支援を行っている。	玄関先には段差が有るため注意を払い入室をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日の掃除や消毒により清潔さを維持している。	引き続き環境整備に努めてまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個別支援を行う個室を必要に応じてクールダウンなどにも利用している。	引き続き環境整備に努めてまいります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		業務についての話し合いは全員の職員が参加している。	引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		事業所評価を保護者の方をお願いしている。	職員全体で保護者のニーズを把握して引き続きより良い支援に繋げてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・朝礼等の時間を使い、職員が意見を伝える事が出来ている。・意見等を伝える機会はあるが業務改善にはならない。	引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。職員の意見を取り入れられるように尽力します。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		あかし療育図鑑の取り組みで、外部評価を行った。	必要に応じて対応しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		明石市で開催している研修に事業所全体で参加している。	社内研修、外部研修は今後も取り入れてまいります。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援プログラムを作成、公表している。	引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		契約時に児発管がアセスメントを行い、その内容を元に支援計画が作られている。	引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		支援計画作成の際には他職員も参加し策定会議を行い、支援計画の検討を行っている。	引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		回覧等を活用し、職員間で共有されている。	引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		アセスメントシートや個別支援、余暇の時間の観察等により、こどもの様子を確認している。	引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		支援計画にそれぞれの項目について記載がされ、支援内容を決定している。	引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員間でプログラムの内容について話す時間を作り立案、企画をしている。	職員間で意見交換をしながら活動プログラム立案ができるように努めてまいります。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		様々な活動プログラムを立案し固定化しないように工夫をしている。	お子さまが楽しく活動できるように立案してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		こどもの様子や利用時間に応じて個別活動と集団活動を組み合わせる支援を行っている。	今後も子どもの様子や利用時間に応じて、個別、集団活動ができるように努めてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		朝礼の中で、その日の支援内容や役割分担について全体で確認を行っている。	今後も綿密な打ち合わせを行いより良い支援に繋げていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		毎日、終礼を行い、その日の支援の振り返りを行っている。	今後も綿密な打ち合わせを行いより良い支援に繋げていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		支援後には必ず記録をとり、各職員がその記録を確認して支援を行っている。	引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		3~6か月ごとにモニタリングを行い支援計画の見直しを行っている。	職員が参加して事前に計画を立て、モニタリングを実施しています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児発管が担当者会議に参加している。	担当者会議終了後に情報の共有をしています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		保護者様からの希望があれば対応して行く。	内容については事業所内で共有を行なっています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	現時点では行っていない。今後必要に応じて行っていく。	今後、必要に応じて対応して行きます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	3	現時点では行っていない。今後必要に応じて行っていく。	今後、必要に応じて対応して行きます。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		4	現時点では行っていない。	内容に応じて事業所内で共有を行なっています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	現時点では行っていない。	今後、必要に応じて検討して行きます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時や面談時にこどもの様子をお伝えしている。	引き続き保護者様とはコミュニケーションを取り共通理解に努めてまいります。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	現時点では行っていない。今後、保護者様の方からの要望があれば実施を考えていく。	現時点では行っていない為、今後、必要に応じて検討して行きます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に説明をしている。	今後も丁寧に説明をして行きます。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		契約時のアセスメントや面談時に確認を行っている。	今後も意向、要望を確認しながら作成してまいります。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		児発管が説明を行い、同意を得ている。	今後も丁寧に説明してまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		面談時等に必要な助言を行っている。	保護者様との信頼関係が構築できるように努めてまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		茶話会を実施し保護者様同士で交流する機会を設けている。	今後も引き続き実施してきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		現時点では苦情を頂いたことはないが今後そのようなことがあった場合は適切に対応して行く。	苦情があった場合は迅速、適正に対応してまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月おたよりを作成し、活動内容や活動予定をお知らせしている。	今後も情報発信に努めてまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報は鍵付きの場所で保管し取り扱いに留意している。	今後も個人情報の取り扱いについては十分に注意してまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		大事な情報は口頭だけではなくLINEやメール等を使い、文章でもお知らせするようにしている。	今後もより良い支援ができるように努めてまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	現時点では行っていない。	今後、必要に応じて対応してまいります。人員の補充に努めてまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	・各マニュアルを作成し、研修や訓練を行っている。 ・今後、計画的に実施して行きます。	引き続き訓練、実施内容を周知してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1	BCPを策定し訓練を行っている。	引き続き訓練、実施内容を周知してまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		契約時に持病やアレルギー、配慮するべきことについて確認を行っている。	職員間で情報共有を行ない適切な対応に努めてまいります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		食物アレルギーのあるこどもについては、保護者の方と事前に相談をして、適切な対応をしている。	今後も保護者様との情報共有を行ない適切に実施してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画を作成し、役割分担や研修等を行っている。	安全に留意し支援を行ってまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	災害時の避難場所について、周知をしている。	引き続き内容については周知してまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットが起きた際には、終礼等で確認、共有をしている。又、記録を残し再発防止の検討をしている。	引き続き安全に留意して支援を行ってまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止について、研修を行っている。	関係機関と連携を図り研修等を行ってまいります。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		身体拘束について、支援計画に記載をしている。	今後、必要な場合には十分に検討して丁寧な説明を行い適性に対応いたします。	